2020.07.14
第５回策定検討部会
資料１

次期都市計画マスタープランの構成（案）

はじめに

１　都市計画マスタープランとは
(1)位置づけ
(2)計画対象区域と目標年次

２　改定の背景
(1)上位計画の改定
(2)都市づくりをめぐる新たな潮流
(3)生駒における都市づくりの進展
(4)市民ニーズの変化

３　都市づくりの基本姿勢
●将来の目標像の設定と実現に向けた計画的な取組の推進
●都市における多様な活動の活性化と状況に応じた小さな取組の推進

４　都市計画マスタープランの役割
（役割）
●これからの都市づくりの方向性（ビジョン）を共有する
●市民や事業者による取組をガイドする
●都市づくりに関わる行政施策の根拠とする
（備えるべき要素）
●都市づくりの目標と戦略的な都市づくりの方針
●地域特性に応じたきめ細やかな都市づくりの枠組み
●多様化する課題に対応するための多分野の施策連携の考え方

第１章　これからの生駒の都市づくり

１　都市づくりの課題
●安全で安心して健やかに暮らせるまちづくりが必要
●こどもを育み、市民と共に成長し成熟していくまちづくりが必要
●これからの生駒の活力を創造するまちづくりが必要
●新たな住まい方・暮らし方を支え、活力とするまちづくりが必要
●「住みたい」「快適に豊かに住み続けたい」の思いが叶う都市空間づくりが必要
●歴史文化、田園・自然環境を活用・継承するまちづくりが必要
●都市経営の効率化を図り持続可能な都市経営を実現することが必要

第２章　都市づくりの目標と戦略

１　将来都市像
自分らしく輝けるステージ・生駒
《20 年後の市民の活動イメージ》
◆都市での多様な暮らし
●安全・安心・健康な暮らし
●ライフステージや価値観に応じた住まい方
●生活に彩りのある質の高い暮らし
◆人々の豊かなつながり
●身近な地縁型のつながり
●共通の関心によるテーマ型のつながり
●場の共有による緩やかなつながり

２　都市づくりの目標
住まい方・暮らし方を選択できるまち
●ベースとなるゾーンの維持と転換
●拠点の形成と連携・アクセスの充実
●包摂性・利便性のある圏域の形成
●活動を育む小さなコミュニティの場づくり

３　都市づくりの戦略
(1) 戦略
豊かな活動を育む空間資源の再編
(2) 未来の生駒をつくる戦略ストーリー
① 都市拠点・地域拠点の戦略ストーリー
② ニュータウンの戦略ストーリー
③ 田園集落の戦略ストーリー
④ 産業集積・学研都市の戦略ストーリー

第３章　目標を実現するための都市づくりの方針

１　都市づくりの方針
(1) 自然資源を活かした災害に強い都市づくり
(2) 誰もが健康に暮らせる、地球にやさしい環境づくり
(3) 子育てを地域で支える環境づくり
(4) ウォーカブルなまちなかへの再生
(5) 強みを活かした研究・開発・産業クラスターの形成
(6) 生駒だからこそできるイノベーションの創出
(7) 自分らしい新たな働き方を実現できる環境づくり
(8) 暮らしや都市活動を支える拠点としての機能を整える
(9) 自分らしい暮らしを実現する住み替えサイクル
(10) 身近な地域で豊かに暮らし続けられる生活圏の形成
(11) 歴史文化、田園・自然環境を活用し、継承するまちづくり
(12) 官民連携による公共施設、公共空間の維持・活用

２　土地利用の方針
市街地ゾーン
田園ゾーン
緑地ゾーン

３　都市づくりの推進方針
(1) 都市づくり推進の基本的な考え方
(2) 都市づくりの主体と役割
(3) 推進方策の体系

第４章　地域特性に応じたまちづくり

１　地域特性に応じたまちづくりの展開方針

２　地域ミライ会議の進め方

３　地域類型別の考え方

⇒　別資料参照

第５章　成果の把握と見直しの方針

１　成果の把握の考え方

２　成果を踏まえた見直しの方針

付属書
（仮称　地域まちづくり書）